

| | | |
|--|----------------------------------|---|
| | 完全参加と 平 等 | 発行所：社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 発行責任者 竹内正直 |
| | [第72号] KYOSEI きょうせい | 事務所：山梨県障害者社会参加推進センター 山梨県甲府市北新一丁目2-12 (山梨県福祉プラザ1階) TEL 055-252-0100(代) FAX 055-251-3344 E-mail: info@sanshoukyou.net URL http://www.sanshoukyou.net/ |

年頭のご挨拶

よこうち しょうめい
山梨県知事 **横内 正明**

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、竹内理事長様をはじめ会員の皆様方には、本県の障害者福祉行政の推進に御理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、平成18年12月の国連総会で採択された「障害者権利条約」を契機に、我が国の障害者施策は様々な改革が進められてきました。この改革は、障害者の自立と社会参加についての基本原則を定めた平成23年の障害者基本法の改正に続き、昨年、障害福祉サービスの充実等障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための障害者総合支援法の施行、更には、障害者差別解消推進法の成立を持って完結したと言われております。

本県におきましても、国の動きに的確に対応していくとともに、平成26年度は、「やまなし障害者プラン2012」の最終年に当たることから、従来にも増して障害者施策の充実に取り組んで参る所存であります。

さて、昨年の本県は、文化一色に染まる年でありました。全国初の通年開催となった国民文化祭「富士の国やまなし国文祭」。日本を代表する文化人が多彩なプログラムを展開した「エンジン01文化戦力会議オープンカレッジ」。また、長年の活動の成果が実り、山梨の宝富士山を世界文化遺産に登録することもできました。

そして、文化の年の締め括りとなったのが、「第13回全国障害者芸術・文化祭やまなし大会」であります。この大会を皆様の御協力と御参加を得て、県内はもとより全国各地から1万人を超える来場者を迎え、成功裏に開催できましたことを改めて感謝申し上げます。

結びに、今後とも誰もが社会の一員として互いを尊重し、支え合って暮らす社会の実現を目指して、障害者福祉を推進して参ることをお約束し、併せて、新たな年が会員とその御家族の皆様にとりまして、幸多きものになりますよう心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

二つの目標

たけうち まさなお
社会福祉法人 山梨県障害者福祉協会 理事長 **竹内 正直**

明けましておめでとうございます。

昨年は、制度改革が予定した法制度をととのえ、いよいよ国会の障害者権利条約批准を待つばかりとなりました。

しかしながら、これをもって制度改革が終了した訳ではなく、会期中の検討が不十分で積みのこった課題を見直し期間中に明快な成案にする作業が歴然とあるところから、このことは終わりの始まりと考え、さらなる英知を集めて、改革を真に実りあるものにしていく必要があります。

この作業は本県における障害者幸住条例の基本改正と併行しておこなうべきと考えます。

また、年末に開催されて成功を収めた第13回全国障害者芸術・文化祭やまなし大会の成果を、今後の山梨県における障害者の芸術文化活動にしっかりと繋ぎ結ぶ作業を、精力的にすすめていく仕事のがこっています。

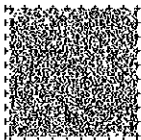
以上の二つの作業を、ことしの大きな課題・目標として力強く押しすすめていきたいと考えております。関係者並びに県民のみなさんの一層のご支援をお願い申し上げます。

| |
|--|
| 山梨県障害者権利擁護センター |
| 障害者の虐待に関する相談・問い合わせ 火曜日～土曜日 AM8:30～PM5:15 (時間外は携帯に転送) |
| ☎055-254-6266 FAX 055-251-3344 |

| |
|---|
| 結婚相談について |
| 山梨県内に在住の障害者の方を対象に、山梨県から委託を受けて進めている県下唯一の結婚相談事業です。専用の相談室を用意しております。お気軽にお電話下さい。 |
| ☎055-252-0100 |

| |
|---|
| 障害者110番 |
| 障害者・家族・関係者の相談に応じます。 火曜日～土曜日 AM9:00～PM4:00 弁護士無料相談(要予約) 毎月第3火曜日 PM1:30～4:30 |
| ☎055-254-6266 FAX 055-251-3344 |

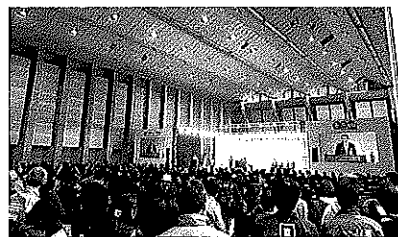




第13回 全国障害者芸術・文化祭やまなし大会

12月6日～8日まで第13回全国障害者芸術・文化祭やまなし大会が開催されました。

会場では全国から公募した芸術作品の展示や、著名人のステージ、障害者団体による疑似体験、授産製品の販売、県内のゆるキャラやB級グルメの集結、まぶしいほどの笑顔があふれる舞台発表など大いに会場を沸かせ盛況裡のうちに閉幕をしました。



この大会の基本方針であった「障害者が自ら創り、障害への理解を促進しながら多くの人と交流を深める山梨ならではの大会」は、針がぶれることなく、様々な出会いのあった実り多い大会となりました。

例年3月に行われるジャンボひまわりの集いや、障害者週間に開催する障害者の主張大会もこの芸文祭の中で開催し、大会を盛り上げました。

◆第40回 ジャンボひまわりの集い

全国障害者芸術・文化祭やまなし大会の2日目の中でジャンボひまわりの集いが開催されました。

生涯を共にする良き伴侶を求め、出会う機会に恵まれない未婚の障害者の、きっかけの場と相互理解及び結婚問題の解決を積極的に進める事業として、関係者・参加者を合わせ100名の方が一丸となり盛会に行われました。

県内外の男性37人・女性18人合計56人の参加者が集まり、今年は日帰りでの開催のため、お互いに交流することに重点を置いたタイムスケジュールとし、13組の交際希望者が誕生致しました。その後も当日交際まで至らなかった参加者から、再度お会いしたい等々、連絡が担当者まで来ております……今後が楽しみです。

参加者からは「とても楽しかった」「今後も是非参加したい」「この集いがなくならないようにして下さい」等々多くの声を頂きました。

いつにもまして熱気を感じたこの集いが、参加者の皆さんにとって、明日への希望となることを祈っています。

◆第24回 障害者の主張大会

芸文祭最終日の8日(日)の大会は、アイメッセ山梨メインステージにおいて実施されました。この日はすでに23回を重ねた障害者の主張大会で、過去最優秀賞を受賞された方に再登場願ひ、力強い主張の発表が行われました。

発表者は、思いのこもった主張を熱く語り、審査員を唸らせていました。

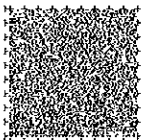
受賞結果は次のとおりです。

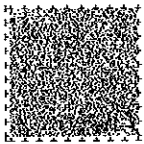
| | | | | | | | | | |
|------|--|-----|-----------------------------|-------|------------------------------|-----------------------------|-----|-----------------------------|------------------------------|
| 最優秀賞 | <small>しのはら みつる</small> 篠原 充 | 優秀賞 | <small>あしざわかずや</small> 芦沢和也 | 大会記念賞 | <small>あなみずこういち</small> 穴水公一 | <small>た なかつよし</small> 田中剛士 | 特別賞 | <small>いしざかまさみ</small> 石坂昌美 | <small>きくしま たくみ</small> 菊島 巧 |
| 努力賞 | <small>きたむら こ おおしほようこ</small> 北村ヒロ子・大柴洋子 | | | | | | | | |

最優秀賞 障害を持ちながら今を生きる喜び

しの はら みつる
篠原 充

「オース」、車から降りるなりS君が大声でハイタッチを求めて来ました。「おはよう」私もタッチで応えます。これが、S君と私達の挨拶なのです。他の送迎車両も到着し、この施設での一日が始まります。ここは知能に障害を持つ人達が利用する通所支援施設です。当日の行動打合せ後、各自の作業に向かいます。この施設で仕事の知識を養い、企業への就労を目指します。先日もY君がある会社に就職が決まり皆でお祝いし送り出しました。私達の一番嬉しい一時(ひととき)です。私はこの施設でお手伝いを始めて6年、人工透析を続けて9年目に入りました。透析を始めて最初の一年間は無我夢中で、仲間が次々に命を亡くす様子に、「私も長くは生きられない」と、やけになり、透析を拒否した事もありました。そんな時、いつも家族や知人に叱咤激励を受けました。当時、私には痴呆が進み施設で生活する母親がいました。高齢で車椅子での生活でしたが、笑顔で頑張る母の姿に、「私も病気に負けてはいけない」、といつも励まされたものです。同じ頃、私にとって初孫も誕生しました。無邪気な寝顔を見るたび、この孫の将来を見たい、と思うようになり、ヨシ、この孫が小学校入学する迄頑張ろう、と私





の生きる目標を立て、病気と前向きに戦いを始めたのです。周囲の人達も温かく見守り励ましてくれました。又施設での仕事も生きがいでした。そんな中、母は昨年95歳で旅立ち、孫も元気で学校に通っています。又、嬉しい事に二人目の孫も誕生しました。先日にも久しぶりに会った老夫婦が「病気に負けるな」と繰り返し励ましてくれ、私は思わず涙がこぼれました。私に残された時間があと、どの位あるのか解りませんが、私は今後の生きる目標を二人の孫の花嫁姿を見る迄、と設定しました。医学が進歩した現在、透析を続けて40年以上頑張っている人が全国で70名もいます。私も頑張れば達成出来ると思うのです。

又、この歳で英会話に挑戦も始めました。職場の同僚が先生ですが、記憶力も衰え、単語を覚えるのも大変ですが、ペースに合わせ解り易く教えてくれるのでやりがいがあります。いつの日か外国の人達と会話するのが夢です。

先日臓器提供キャンペーンに参加し協力を呼びかけました。一昨年、脳死判定による男性の家族から、「苦しんでいる人の役に立ちたい」との本人の意志を尊重して、県内初の臓器提供が行われ、又昨年富山大で脳死判定の幼児から、「誰かの体の中で生き続けて」、との両親の願いから、日本で初の幼児からの提供が行われ、七つの臓器が今も誰かの体の中で生き続けています。県内でも提供を待っている人は多勢いますが、ドナーが少ないのが現状です。多くの方が理解し協力して下さいる事を願って活動を続けて行きます。私は今、透析を続けながら働いています。短時間の軽作業ですが、職場での理解もいただき、楽しく過ごしていますが、障害者の働く場はまだまだ少ないのが現状です。健常者に比べ戦力としては弱いかも知れませんが、皆頑張っています。又支援体制も充実しています。是非ご理解をいただき一人でも多くの仲間が働ける場を提供して欲しいと思います。

今年の収穫を終えた我が家の田んぼに短冊の付いた風船が舞い下りて来ました。雨に濡れた短冊の中から、学校名と幼児の名前が判読出来ました。調べた所、琵琶湖の近くにある小学校が閉校になる最後の運動会で飛ばした風船の一つが、偶然この地に舞い下りて来た事が解りました。子供達の夢をのせ、風にのり、長い旅をしてたどりついた一つの風船、私はとてもすがすがしい気持ちになり、早速小学校の皆さんに届いた旨の手紙を書きました。私にとってとても嬉しい出来事だったのです。後日この小学校の校長先生よりお手紙をいただきました。滋賀県の長浜城の近くに位置し、生徒数51名、140年の伝統を持つ小学校ですが、来年3月で閉校、4月より統合になり、今迄の学校名も無くなってしまふとの事でしたが、大空高く飛ばされた風船が、日本の屋根（日本アルプス）を越えこんなに遠く迄飛んで来た事に皆びっくりしているとの事でした。

私はこれ迄、病気と戦いながらも多勢の方々とお会い、触れ合い、励ましや勇気をいただき、今があるからこそ、このような数多くの貴重な体験が出来たのです。障害を持ちながらも、今生きる事に感謝し喜びを痛感しています。これからも目標に向かって頑張ります。

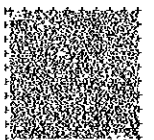
皆さんお互い頑張りましょう。そして七年後の東京オリンピック、パラリンピックで日本をそして仲間の人達を応援しましょう。

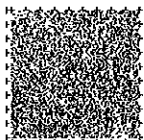
「障害者差別解消に関する法律の意識啓発研修」開催される

前号にご案内を掲載した上記研修会が、去る10月23日（水）甲府富士屋ホテルにて開催されました。基調講演では、内閣府障害者制度改革担当室長 ひがしとしひろ 東俊裕氏による、「障害者差別解消法とその施行に向けて」の講演があ



り、後半のシンポジウムでは、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科教授の いわたかずみ 石渡和美氏のコーディネーターで、シンポジストに山梨県知的障害者支援協会会長 やまにしたかし 山西孝氏・山梨県精神障害者家族会連合会副会長 あめみやきよてる 雨宮清昭氏・支え合う会「ピーチ&グレープ」代表 あしざわしげお 芦沢茂夫氏が、それぞれの立場で障害者差別に関する意見や経験、今後の地域における差別禁止条例作りの必要性などの発言があり、大変意義深い研修となりました。





障害者週間の取り組み

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。当協会及び山梨県障害者福祉ふれあい会議が主催となり、毎年週間初日に「障害者週間普及・啓発キャンペーン」を行っています。啓発チラシ、福祉施設による啓発物品1,000個を、甲府駅の乗降客に配布し、県民への理解を求める周知活動を行いました。そのあと県庁防災新館で、平成26年度の施策要望として、13項目の要望書を竹内理事長より、障害福祉課平賀課長に手渡しました。

安西君、全スポ大会で新記録



去る10月12日(土)~14日(月)の3日間、東京都調布市の味の素スタジアム他にて、上記大会が開催されました。

代表選手による活躍で、金メダル18個、銀メダル7個、銅メダル7個の合計32個のメダルを獲得しました。中でも盲学校の生徒で、弱視の安西飛呂くんは、初出場にして100mで12秒36、1500mで4分33秒43の高タイムをたたき出し、1500mの記録は大会新記録をマークしました。学生ということで、今後さらなる活躍が期待されます。

県民の日恒例 ふれあいマーケット・芸能まつりを開催

毎年、山梨県障害者福祉ふれあい会議では、11月20日の県民の日を記念して小瀬スポーツ公園で行われるイベントに協賛して、「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」を行っています。2日間の晴天のもと、授産製品や遊休品、野菜の販売や模擬店などを行い、18団体が参加して大盛況でした。17日(日)の芸能まつりでは、向徳舎音楽クラブの合唱と、かえで太鼓サークル「天真爛漫」の皆さんが太鼓演奏を披露しました。

「心の病」講演会 予告

「心の病とは」ー治療ー回復への道ー 精神障害者家族会が講演会を開催。心の病は、早期発見・早期治療・ケア・家族の対応・周囲の正しい理解が大切です。峡東保健所圏域の「心の病」の人を支える家族と当事者や精神障害者を支えていただいている人、心の健康に関心のある方々を対象に、新しい治療を臨床に活かす、回復への道筋について学びます。

日 時：平成26年2月21日(金) 午後1時30分~3時30分

場 所：東山梨合同庁舎101会議室(問い合わせは、当協会北野へ)

講 師：日下部記念病院 院長 久保田正春先生

平成25年度 第3回パソコンボランティア養成講習会のお知らせ

パソコン及び周辺機器の使用に関する支援を行うボランティアを養成するための講習会です。

日程は26年3月中4回開催、各10:00~16:00。

募集対象者は、パソコン使用の経験がある方(日常使用程度)です。

日程が決まり次第HPに掲載しますのでご覧下さい。申込み・問い合わせは、担当 ^{かやぬま} 萱沼まで。

編集後記

今年、山梨では初めての「第13回全国障害者芸術・文化祭やまなし大会」が開催され、障害者週間が盛り上がりました。私たち職員も、47年に1度のこの大会に携われたことを誇りに、これからも障害者福祉向上のさまざまな取り組みを行ってまいりますので、みなさまのご理解・ご協力をお願い致します。(齊藤)

編集委員会

- 委員長 山口 充宏(手をつなぐ育成会)
- 委員 飯島 利雄(山身連)
- 仁科加代子(山穂協)
- 小林 勝夫(精家連)
- 梶原 剛(山視協)
- 齊藤 玉木(事務局)